

## 佳作

### 生けるエスペラント

市川貴弘

エスペラントは現に生きてる言語にして、そらごとの遊びにても、過ぎ去りし古き夢にもあらず。

先ごろ、詳しき文法書ひとつ手に入れまほしかりしかば、インターネットの某通販サイト、検索しつれど、あらざりき。思ひ立ちて「日本エスペラント協會」に直直その旨、告げて頼みつ。待ちながら、この、とく届かむを待つ心こそ、まことの楽しみならめと感ずる折、五十に近き齡の故か、暮らしのままならぬ爲か、しばしばあることに気づく。

ともあれ、時代の申し子たるインターネットにさへ、エスペラント目にする機會、少なからず。例へを挙げれば、Googleてふサイトに多言語機能あるは名高きことなり。アラビア、スワヒリ等の自然言語はさらなり、知る人こそ少なけれ、こは、ページをエスペラントに替へても閲覧せらる。

Facebook 始め、名高きソーシャル・ネットワーク・サービスにすら、エスペラントのみ用ゐるグループあり。探さば、げに難なく見つかるべし。

エスペラント學び始むることの起こりには、英語嫌ひ多しと聞く。我もまたその例に漏れざりき。中學生なりし時、英語學ぶ由の、おしなべての論は肯ぜられしかど、我にとりては如何と問はば、要らぬものとぞ思はれぬ。アメリカにも行かざらむ。英語など使ふ生業もすまじく見ゆ。世にあまた言語のあ

るを、何ぞ英語のみ學ばずんばあらざると、さかしらに思ひて、つゆ覚えざりしかば、高校進學に當たりては行くさき限られ、辛くして入りぬる所にても、一年ばかり無碍なく苦しmitたりき。眞にあぢなき思ひをこそせしか。

幸ひに、我が知りたる方言の、古文にて成り立ち明らめらるるを見つくること重なり、文法おもしろくて、果てはドイツ語、中國語などやうの外つ國の言葉に目むき始めたり。エスペラントもその頃はじむ或る時、はたと氣づきて思はく、英語は學科のみに留まらずで、本來イギリス語なりと。今だに英語は不得手なれど、その後は人並みに學びて、役にも立つ。エスペラントの單語をして英語テストの問ひ解かれしことなむ、爽やかに懷かしく思ひ出でらるる。

三十過ぎより、我、用ありてドイツに數年住みたりしを、エスペラント使ひ文かはせるリトアニア人に會はむとて、ものも考へず、名のみ知りたる國へ渡りしことあり。「ソ連」破れて十幾年のほどにやありけむ。

行きてみれば、英語話すもの甚だ少なく、リトアニア語を置きては専らロシア語を人々、第一外國語とす。老いたる人のドイツ語話さるるに會ひて、ロシア語知らぬ我は大いに救はれたる心地せり。また、ヨーロッパの内にドイツ語の廣く通ずるさま思ひ知らされ、感じ入りにしことよ。

友人の家、いと鄙びたる村にありき。繫がれざる犬、そここに駈け回り、車通れば群れて追ひ驅く。我が國にてリトアニア人見ることも珍しけれど、かやうの村にアジア人の訪れしこと、かつて無かりけ

む。

カウナス市なるエスペラントクラブに行きし時は、我が言葉のごとくエスペラント使ふ人々にいたく驚きぬ。まづここに來て他所を知らざらましかば、リトアニア語こそ外國語にして、エスペラントこの國の言葉なれと、思ひ違ひもぞせまし。引き比べて日本を見るに、「萬年 komencanto（初心者）」多きこと、憂へざるを得ざりき。

七日かの地にあるあひだ、友人と言ひ争ひもエスペラントばかりにてせり。

凡そ、エスペラントの不可能性を語る人に二類あり。英語知りたれどエスペラント話されぬ人、若しくはエスペラントも英語も使はれぬ人なり。話しながら使はれぬ由、言ふ筈もなければ、知らぬ先から無用と斷ぜば、豈に學ぶべけんや。當に我が嘗ての英語の如くなり。

英語の廣く世に行はることは全き事實なり。さまで詳らかに研究されたる言語も他になし。人口に膾炙せるシェイクスピア、ハリー・ポッター、マイケル・ジャクソン、英語なかりせば如何ならまし。かく言ふ我も、外國人に會ふにつけ、言ひたきことあれば多く英語にて済ます。

然れども、英語のみ話す英米人の Can you speak English?こそ腹だたしけれ。文書にても口にても、我が言葉話さずは、その咎、我ならで彼にありと言はむがごとき、むくつけき態度、パソコン畫面の大きさに、センチ使はずインチ用ゐる非常識に異ならず。こは一人英語、英米人に限らず、勢ひある民族の遍く陥る心の罣なるべし。耳にすらく、我が日本人も、東南アジアに於ける振る舞ひ、いと惡しかるなり。

ロシアの領するポーランドに育ちけるユダヤ人なればこそ、夙に深くかく感じて、ザメンホフ博士、エスペラントを作られけれ。時は流れて、今年、百度目の世界エスペラント大會、フランスはリールに開かれぬとぞ。

「橋渡し言語」たるエスペラントは人に使はれずは生きぬものなり。されど、使ふ人なくとも、話す人絶ゆれば死にゆく自然言語のごとく消えぬことも又なし。これぞ、人の作りたるものと惡しく言はるるエスペラントの強みなるべき。

そも、エスペラントは好事家のすさびにあらで、世の平和のために作られたり。言葉のみにて平和は作られざらめど、その一因とはなりなむ。その心にて、エスペラントに我は肩入れ、いつもこれを廣めむとす。